

麓山の杜 みどり通信

発行元 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17
TEL 924-2194 FAX 924-2195

【出生に伴う記念樹交付の終了について】

郡山市にお住まいでお子さんが生まれた方に記念樹として樹木の苗木を1本プレゼントしておりましたが、平成25年度をもって終了しました。対象となる方で希望される場合は、申請期間内に申請されるようお知らせします。

プレゼント対象者	郡山市にお住まいの方で、平成26年3月31日までに出産した方。
申請方法	申請書に添付して提出してください。(出生届の写しまたは母子手帳の写し)
申請期間	出産後1年以内
申請窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・21世紀記念公園 麓山の杜 024-924-2194 ・郡山カルチャーパーク 024-947-1600 ・郡山市都市整備部公園緑地課 024-924-2361 ・各行政センター



ガーデニングポイント

【水やり】梅雨明け後の水やりが、特に必要になります。それまでの雨で根が傷んでいるとその後の高温乾燥により、特に樹勢が弱ってしまうことが多くあります。その予防として、①遮光する。②根元を腐葉土などでマルチングをして、強い日光から守る。特に根を切り植え替えしたものは、強い日光や風に吹かれるとすぐしおれやすく、その後も水不足が続くと枯れてしまいます。乾いてきたら、樹冠全体にもたっぷりあげます。水をあげるタイミングは、表面の土の乾き具合を見て判断します。土壌条件が適さないと、いくら水をあげても根に届かず、すぐ乾いてしまって枯れる原因にもなります。水の量は、地中深く根に届くまでどっぷりとあげます。暑い時は、日中の水やりは厳禁です。朝のうちにあげるのがベストです。それでも乾燥が激しい場合は、夕方にもあげます。乾燥に弱い樹種は、根が地表に多く張っているツツジ類です。街路樹に植えられているツツジがしおれているのを見かけます。鉢植えも水をあげる事によって根の傷みが防げます。水やりは、水分を根に届けると同時に、新鮮な酸素を供給するのが目的です。根腐れとは、根に酸素が不足し、窒息状態のことです。

濃い緑が夏の陽を浴び輝いていますよ。

【肥料】ツツジ類などは、花後にお礼肥として緩効性化成肥料をあげ、次の成長を助けます。また、生垣も刈込後にあげます。但しこれからは、肥料をあげすぎると柔らかく育ち、病虫害の抵抗力が落ちやすくなります。芝生には、この時期に芝生専用肥料をあげます。三要素がすべて8パーセントの化成肥料がむきます。何事も適期に適量が大事です。

【病害虫防除】6月下旬からアメリカシロヒトリが発生しています。今年は、1回目の発生は少ないようです。でも、今の幼虫が蛾になって、2回目の発生の元になります。早めの退治が重要です。アブラムシやカイガラムシも発生しています。特にカイガラムシは、発生初期に薬剤を使用すると効果的です。アブラムシには完全ではありませんが、土壌に撒いておき吸収移行して効果がある薬剤もあります。特に草花などには向きます。(アセフェート粒剤です) アメシロ以外にもケムシ類が多く発生しています。その種類によっては、かぶれるなどの毒を持っているものもいます。脱皮した抜け殻などでも炎症があるので、注意が必要です。マツ類につくマツカレハも、もうすぐさなぎになります。松枯れの原因となるマツノマダラカミキリも成虫になって飛び始めています。スミチオン乳剤などの散布が効果的です。ハナミズキなどには、うどん粉

病が発生し始めました。病気は、予防が一番ですから、①早めの殺菌剤の散布 ②混み合っている枝の剪定をして通風を良くする。③高い木の上に強い水流の水をかけて樹上の害虫を払い落とす。の3点に留意して予防してください。

【剪定】ツツジ類・アジサイなどは、早めに花柄を摘み剪定をします。そうすることで、次の花芽が出来やすくなります。ツゲやマサキなどの生垣も刈込し、大きさをコントロールします。常緑針葉樹や常緑広葉樹も、この時期に剪定をしますが、切り過ぎて日光が幹や根元まで当たり過ぎるような強い剪定は、してはいけません。落葉樹は、弱めの剪定にとどめます。剪定をしすぎて葉が極端に少なくなると、樹勢を弱め枯れてしまう原因になります。剪定後は、樹冠全体に水をあげて乾燥から守ります。美観だけを目的に剪定をするの

ではなく、樹木は生き物という概念を忘れてはいけませんね。また、庭には雑草が次から次と生い茂ってきます。前号にも書きましたが、除草剤の散布は控えます。商品には「長く雑草の発生を防ぎます」と書いてあるので安易に使いたくなりますが、有益な植物まで枯らしてしまいます。面倒でも、人力でむしり取るしかありません。そして、根元を綺麗にすることで病害虫の予防にもなります。

【植え替え】植物によっても違いがありますが、梅雨あけ前までなら常緑広葉樹は、植え替えが可能です。秋口まで待つほうが無難です。針葉樹も秋なら植え替えが可能です。落葉樹は落葉後まで待ちます。ただし鉢植えなどの場合は、この時期でも庭植えは十分可能ですが、その後の管理が大変です。鉢植えのアジサイは、早めに一回り大きな鉢に植え替えるか庭植えにすると、来年も楽しむ事が出来ます。



【みどりのイベント】		※みどり講習会は、10:00~12:00 開催 樹木医の先生がお答え致します。	
開催日時	教室名	内容	定員
9月14日(日) 10:00~15:00	記念樹交付及び みどり講習会	・記念樹の育て方初歩講座（季節の管理ポイント） ・秋が植え替え適期の樹木の移植方法	・記念樹申請者 ・受講希望者 無料

？見かけた事ありますか？？

「この葉の裏についている白い物はなんでしょう？」

最初は、「アゲハモドキ」という「イモムシ」と思いました。白いひらひらの長いひも状の蛾物質をまとっています。しかし、カンボクの樹種についていて脚の数が違うことから、「ハバシロアシマルハバチ」という「ハバチ」の仲間とわかりました。私達の周りにも色々な生物が活動しています。（6月中旬に撮影）



街で見かけた植物



「ヒメタイサンボク」

(モクレン科 モクレン属)

アメリカ、バージニア州原産の常緑広葉樹です。樹高は、7から8mになります。葉は、明るい緑色で6月から7月にかけて白い香りのあるふっくらとした花を枝先に咲かせます。実際は常緑樹ですが、この地域では落葉性になります。派手な樹種ではありませんが、落葉樹との相性も良く雑木の庭にむいています。剪定もあまり必要としません。病害虫もあまりつきません。タイサンボクのように、葉が厚く大きな樹種とはイメージが違います。この地域では、あまり目にする事は少ないようです。

